

東北地方モデル飼料畑耕作検討会(3年目)

雪印種苗 東北支店

高橋 皆様ご多忙の中、しかも遠路はるばるとお集まりいただき誠にありがとうございました。東北地域でのモデル飼料畑耕作実験事業も3年を経過いたしました。優良な種子の普及という観点からこの事業をすすめてきたわけですが、私共としてもさらにこの事業を充実したものに輪を広げてまいりたいと考えております。(中略)最近の畜産事情はとてもきびしく、この情勢の中でいかに経営内容を充実させるかということを見ると、今

日ほどエサの自給率を質、量ともども充実させることの必要な時はないと思うのです。この貴重な皆様の記録を生かして私共はさらに一層の努力をかたむけてまいりたいと思いますので今後共よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

とうもろこし

小原(繁) 3年間通して感じたことは、天候はもとより地域により条件が3カ年同一でないので調査結果にかなりのバラつきがみられた。52年は全般に施肥量が少なく、53年は高温の年で3カ年のうち収量は最も高く、54年は低温に加えて雨が多い年であった。(第1図)

折館 斗南丘(むつ市)は青森県でも特に北で有効積算温度が1,100度いかないので品種の選定に気をつけている。つまり晩生のものほど生収量があるわけだが質的なものが問題で安全確実に黄熟に達する品種ということで選定をしている。なるべく早生の110日位が良いのではないかと考えている。主軸はバイオニアのA号、1号、2号でスノー2号は晩生すぎる感じた。

小原(繁) むつでは適期播きの場合は1号が中

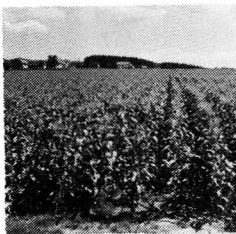
出席者

県名	地区名	農家名	普及所	担当者
青森	むつ市	加藤 義二	むつ	折館 信
岩手	大野村	下谷地 清	久慈	小笠原義明
〃	金ヶ崎町	●鈴木 吉男	水沢	小原 茂志
宮城	川崎町	小関 寿雄	大河原	曾根 善哉
山形	東根市	太田 準一	村山	鈴木 侃
福島	二本松市	渡辺 義行	安達	遠藤 精幸
〃	西郷村	●田中 三郎	西白河	佐川 広
			白河報徳	○鈴木 貞男

(註) ●は欠席 ○は所属が開拓農協

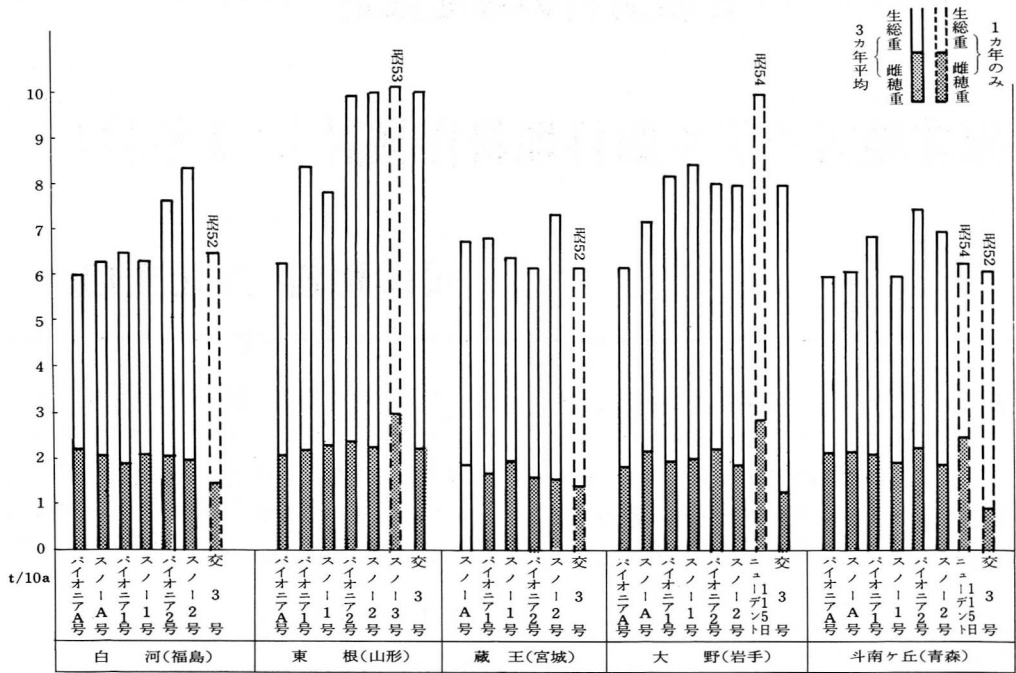
会社側出席者：高橋 亨 取締役東京支社長
 兼子 達夫 千葉研究農場長
 山下 太郎 〃 代理
 小原 繁男 東北支店技術顧問

目次



収穫間近いニューデント F1とうもろこし圃場

- ビニール簡易サイロ I表②
- 自給飼料の増産推進
 東北地方モデル飼料畑耕作検討会(3年目)東北支店..... 1
- 阿蘇の草地.....早川 康夫..... 5
- サイレージ調製の基本野 英二・安宅 一夫 9
- 雪印方式モミガラ利用によるホル雄肥育技術 最上 誠二14
- ビニール簡易サイロ II.....表③



第1図 モデル農家における3ヶ年の平均収量 (昭52~54)

心になるところで、2号クラスだとバイオニア2号あたりが限界かとおもわれる。したがって中心品種として1号を選定し、それにバイオニア2号あたりの品種を組合せることが無難ではないかと考えている。

下谷地 畑の管理は同じなのに54年はニューデント115日が抜群だった。今回の畑はpH7で、従来自家用野菜をつくったりしていた所で地力には自信があった。

小笠原 他の地区でもニューデント115日が極めて良かったので一年間の成績だけだが今後この品種がこの冷害常習地帯でどうか検討してゆきたい。大野地区では1~2号が主体となるようだ。

小原(繁) 54年度はニューデント115日が他品種にくらべ雌穂の収量が多く、青森でも大野村でも同じ結果で、しかも大野村の場合は山形に次いで高い収量を上げている。しかし気象条件にもよるものだろうし、いちがいにニューデント115日が良いとは断言できない。下谷地さんの地区は岩手県の県北でありながら10tの収穫をあげていることは注目すべきであるし、地力がいかに大切であるかを教えられた。3年間の品種間の比較をしてみるとバイオニア2号が穂の重さ、スノー2号

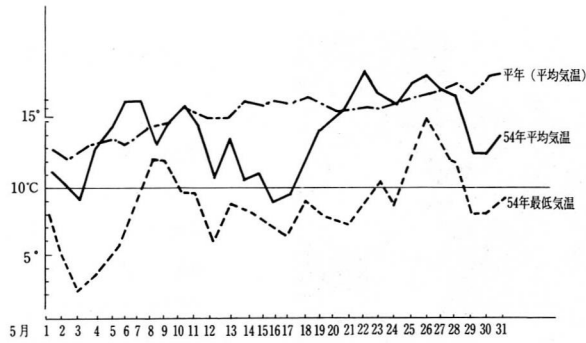
が総重の点で優れていた。一般的には北上市より南はスノー2号が良く、北の方はバイオニア2号が良さそうな気がする。むろん東北南部でも高冷地帯は北部に準じた考え方をもつべきで、昨年のような天候では東北の北部はむろんのこと中南部でも高冷地帯では1号クラスに良い結果がみられた。

小原(茂) 金ヶ崎町は岩手県内でやや南にあるが、駒ヶ岳山麓の裾野で収量も7t前後の所だ。品種的には2号、1号クラスが主体だがバイオニア系は熟期から収穫までの幅が少なく枯れ上りが早いようだ。

兼子 金ヶ崎町は土壌が乾きやすく粘土質の固い土壌で早魃の影響が出やすいことが考えられる。

小原(繁) 2号クラスが良いが3号はやや遅い感じがする。1号も良い。スノー、バイオニアどちらも大差ないので2号を中心として1号を配置すると良い。54年は一部でスノー2号に低温による発芽不良がみられた。金ヶ崎地域は低温と肥料ヤケは影響ありそうで、昨年の北上市の5月の気温は平年気温よりかなり下った。(第2図参考)

小原(茂) 肥料ヤケの防止対策はどうすれば良いだろう。



第2図 北上における5月気温(54年と平年値比較)

山下 チッソを10kg以上施す場合は全て基肥にやらずにオーバーする分を追肥の形で生育ステージにあわせてやることでトウモロコシの8葉期がその時期だ。最近の播種機は肥料の上に種子が直接落ちないようにしている。同時にやらなくてはならない場合は半分を作条に施肥することにより危険を分散できる。地力レベルが高ければどういうやり方をしても問題はない。

兼子 収穫適期の幅はバイオニア系でもA号と1号は違われ、1号と2号は違う。私共も黄熟がすぎても葉が緑色のような系統をつくらうと思っているが、今は特にスノー、バイオニアのA号がそのような傾向にあると思っている。概してスノー系の方が晩熟の傾向がある。

曾根 スノー1号と2号クラスではバイオニア2号が中心だ。

小関 収穫調査はそれぞれ品種の適期毎にやるのが良い。反当生収量で10tとるより乾物、糖分の高いもの、つまり質的なものの収量が最終の目的である。宮城県川崎町ではスノー2号が多く、遅く播く時はスノー1号が良い。10月中旬頃に大麦、イタリアンを混播して翌春利用する。5月下旬に大麦の黄熟期に刈取ってイタリアンをもう1回利用し、その後トウモロコシなりカブを播くことを検討したい。

鈴木(侃) 私共のところはスノー2号が主体で5月10日播き8月下旬刈取りである。7月上旬までに播けばスノー2号は10t収穫できる。雪が多いのでスノー2号、3号で1年1作でやり10t目標だ。

小原(繁) 東北6県の中では山形が最も恵まれており、特に太田さんのところは地力が良いこと

もあって10t以上とれた。2号クラスから3号クラスが中心となるだろうが、2号の比較ではスノー、バイオニアとも甲乙つけ難い。

鈴木(侃) 連作障害なのか、すじ萎縮病のような状況がみられた。

太田 先が枯れる病気が出た。除草剤の効果がどうもうすい気がする。

兼子 除草剤の効果は土壌水分で変わり、雨が降った後に除草剤をまいて天気が良くなると良く効く。

山下 除草剤の水の量が関係するし、ローラーをかけて鎮圧すると効果が出る。

小原(繁) 太田さんの先が枯れるのはアワノメイガによるものだ。広い意味での連作障害といえるかも知れないし病原菌や虫の密度が高くなっていることも事実です。

兼子 アワノメイガも年により出たり出なかったりする。飼料作物の場合は途中で薬剤散布が難しい場合が多いので、でき得れば輪作など栽培法で対応したいものだ。すじ萎縮病については、耐病性品種をつくることを急がなければならないし播種期等でかなり被害を軽減させることができる。

遠藤 3カ年間の成績のバラつきは52年度が転作1年目、53年は好天に恵まれ、54年は日照不足によるものである。栽植本数と穂の重量関係が大きいようだ。2号クラス主体で7,000本位が適当で、3号は収量を上げるため少し組合せて栽培したい。スノーとバイオニアは大差はない。

渡辺 輪作面からみると1号を播いても後作のイタリアンは年内1回しか刈れないから、2号を播いて収量を上げた方が良い。

兼子 従来はトウモロコシの後にはカブだったが今はイタリアンかライ麦を播いて収量を上げるよう



成績検討会の模様

にしている。

佐川 西郷村は福島県南でありながら標高 500 m 位の冷涼地帯で火山灰地帯である。品種は主体がスノー 2号とパイオニア 2号で 50%，パイオニア 1号で 30%，パイオニア A号 20%となっている。

鈴木（貞） 盛岡と似た気候なのでパイオニア系が良いと思う。風が強くて困るので実が低くつく品種で 130 日以内を目安に選定したい。麦を導入してあわせて 10 t の収穫をねらっている。

小原（繁） 白河は標高が高いので県南部の感じを受けない。パイオニア 2号が高い収量を示したが平坦地とは違う感じが強く、2号クラスが中心品種と考えられるし、1号クラスをある程度配置することが良いと思う。二本松は県中央部山寄りだが白河にくらべるとスノー 2号が良いし、スノー 3号も良く気候的に恵まれている。スノー 2号が良さそうだがパイオニア 2号は穂の収量が魅力だ。

岩手県滝沢村での試験結果

小原（繁） 岩手山のふもとと標高 300 m の滝沢村で各品種の特性をみた。牧草をおこした後に播くとどうしても播種期が遅れるのでそれに適した品種をとという要望が強いので早生品種を用いて「晩播適応性」についても検討した。その結果スノー 1号は最も多収で、草丈も伸びて揃いも良かった。6月15日播種期で9月29日収穫し、穂は糊熟後期で揃っていたが黄熟まで待つとすると収穫期はもっと遅くなる。スノー 1号は良い結果を得たが、1年だけの成績であり、今後更に検討してみたい。

アルファルファ主体混播草地

鈴木（貞） アルファルファと他草種との組合せがうまくいかなくて、アルファルファにあわせて収穫したらイネ科が消えてしまった。

加藤 新播草地だが天候が悪かったのか、一番草刈取高さが低かったのか、アルファルファが消えた。3年目の草地も二番草収穫後雑草に負けてしまっていて反転した。pH は 5.5~6 で根粒菌は普通の状態ではなかった。

兼子 品種の開発には雪ぐされ病の抵抗性がこれからの問題だと思う。苦土欠が根粒菌の着生に大きく影響する。秋の刈取りはいつ最終刈取とするか問題だ。土壌中の有効性の肥料、水分も影響がある。

山下 アルファルファはどれか一つだめでも消滅する原因になる。刈取危険帯に刈ってダメになる場合もあるし、アルファルファ・イネ科どちらにあわせて刈ったかで致命的になる。

加藤 除草剤でかなり強いダメージを受けた。

兼子 温度が高いと薬害が出るので春播きの場合は早く処理する。20度以下の温度で曇天を選ぶこと。秋播きの場合も涼しくなってから処理することが肝要である。

飼料用ビートのシーダーテープ播種

下谷地 シーダーテープは初めての経験だったが間引きの労力がいらず 10 t 前後収穫できた。シーダーテープをうまくやるコツは整地が良いことで土が硬いとダメだ。

おわりに

兼子 昭和 52 年から 3 年にわたってモデル飼料畑の栽培について大変お世話になり、また普及所の先生方には懇切にご指導を賜りましてありがとうございました。感謝申し上げます。会社としてはより一層研究を重ねて皆様のお役に立ちたいと思っておりますので今後共々指導下さいますようお願い申し上げます。

（文責 石橋 浩一）